

Mランドニュース Vol.185

丹波ささ山校 令和4年9月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

自分の才能を発揮している人はどんな人かという、まず言えることは、人が「なんだそんなことか」と思うような取るに足らないことに、一所懸命取り組んでいる人です。 鍵山秀三郎氏

四十四歳、新たな挑戦

顧客チームリーダー

長谷川 泰之

丹波地区指定自動車教習所四校の教習指導員が、毎年一堂に会し受講する法定講習。

永見所長より「地区部内講師をやりませんか?」とお話をいただきました。

これまで何度も受講してきましたが、部内講師の方々のご苦労は毎回垣間見えており、とても自分には勤まらないと、すぐにご返答をいたしました。

何とか引き受けずに済む方法を考え悩んだ末、「最初から上手くできる訳がない。失敗しても次に繋がればいい。これも自分のため、やるだけのことはやってみよう」と思い至り、翌日に「させていただけます」と返事をいたしました。

後日、兵庫県指定自動車教習所協会主催、部内講師の初会合で、今年のテーマは『死角』と決まりました。

さまざまな研修内容を私なりに立案し、同僚の協力を得て実際に試し訂正を重

ね、日程表に落とし込んでいきます。

一番の問題は「時間配分」で、多くの受講者に対し均一に体験していただくことで「時間が余る」、「時間不足」ということにならないようにしなければなりません。

器材、資料ともに準備万端、明日の当日を迎えるばかりの前日、予定していた会場が急遽工事の必要が発生したため、別会場に変更となり、早朝に現地入りし最終確認を行いました。

そして迎えた法定講習当日は、それまで連日の悪天候が嘘のような快晴で、これだけでも心が救われた気分になりました。

緊張のあまり地に足が着いていないような、久しく味わっていない感覚が私の体をかきめぐりましたが、「やることはやった。あとはやるだけ」と自分に言い聞かせました。

始まればあとは早く、スケジュールに従って進行していきます。

今回、主眼にしていたのが『急ブレーキ体験』。路上での急な飛び出しに対し死角からポールを転がし、「何km毎

時なら止まれるか」、自ら試すというものです。



実施内容を説明しています(右端)

開始早々、ポールが轢かれてパンクするというアクシデントに見舞われたものの、「いくらベテランドライバーでも、危険予測し減速していかない」と、事故回避はできず、概ね好評でした。勿論、全てが上手くいった訳ではありません。予定よ



終了後、ほっとひと息 この「笑顔」

りも早く内容が終わってしまつたもの、実施要領が細部にわたり上手く伝わっていかつたりと、不備があったことも事実です。しかし、受講者全員がまとも、取り組んでいたたいたおかげもあり、無事最後までやり遂げることができました。反省点もあるデビュー戦でしたが、得難い経験を積むことができました。大事なことはこの経験をどう活かすかということであり、初めて運転をするゲストと同じで、自分はまだまだ成長できるということ。この教習所業界に、右も左も分かつ飛び込んだときに、当時、新任研修を担当していただいた先輩から、

お便り紹介

「長谷川君、死ぬまで勉強やぞ」と、当時の私にはピンときませんでした。今ならその意味が分かる気がいたします。変化を好まず、すすんで人の前に行くことのない私にとっては、とても大きな一歩でありました。こんな素晴らしい機会を与えていただけただけなのに、感謝しかありません。

残暑お見舞い申し上げます。バイク教習でお世話になったインストラクターの方から、直筆のお手紙を頂戴したことが嬉しく、返信させていただきました。

バイク教習では大変お世話になりました。卒業した翌日には免許証を取得し、七月十七日にバイクが納車されたばかりです。早速、日本海や淡路島へツーリングに行き、バイクのある生活を存分に楽しんでいます。くれぐれも安全運転を心がけます。

お仕事がんばってください。

阪下伸二様

Mランドに滞在して

八月上旬、連日の猛暑日の中、毎朝ボランティアに参加して下さっている奥川陽菜様に、お話を伺うことができました。ご紹介させていただきます。

私がMランドを選んだのは、兵庫県在住なので免許の本試験を想定して、同じ都道府県の教習所で免許を取りたいと、前々から考えており、家から最も近い合宿コースのある教習所が、Mランドだったからです。

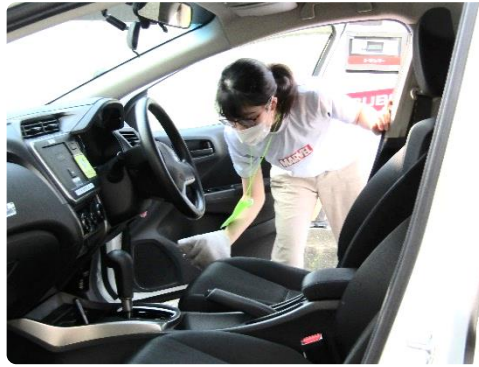
合宿生活を送っている中で、早起きでも部屋でゲームをして、ダラダラと過ごすだけになってしまい、何かもっと生産性のあることをしようとおもい、ボランティアへの参加を決めました。



掃除によって感性が磨かれます

校内清掃のボランティアや洗車のボランティアに参加して以降、「できる限り、教室や車を丁寧に使おう」という意識が芽生えたと感じます。

「ものを丁寧に使えば、その人の態度も変わる」というお話を、ボランティア中に聞きました。まさにその通りになったと感じました。



「今日も運転練習、応援してね！」

合宿生活は想像以上に快適で、三食の食事はどれも絶品で、特に初めてパンを朝食で食べた際には思わず感動しました。

宿舎での生活も、不自由なく暮らせて、お風呂が温泉のように綺麗なので、毎回旅行気分になれて楽しめました。

私は一人で合宿に参加しましたが、Mランドのスタッフ

さんが気さくに接して下さるので、寂しい思いもせず楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。

目標に向かって！

営業チーム 上出 健二

今年も、神戸市長田区の阪神自動車航空鉄道専門学校様から二十二名のゲストにご入所いただきました。

今年も、ベトナムやバングラーデシュなどの外国籍の方が十七名入所され、言葉の壁に四苦八苦されながらも、無事全員が卒業されました。

遠い母国から親元を離れ、将来の夢に向かって精一杯がんばっている彼らを、Mランドが免許取得のサポートをさせていただけれることで、彼らの夢を応援できることを、毎年嬉しく感じています。

しかしながら、異国で免許を取得するという事は私たちが想像する以上に、容易なことではありません。

必死にがんばっておられる彼らに、少しでも学習しやすい環境を提供したいと考え、学科教習では、ベトナム語な

ど数か国の字幕が流れる映像を活用し、技能教習や、スケジュールの空き時間を利用しての「勉強会」では、「ポテトク」という翻訳機を今年から新たに採用し、より繊細なコミュニケーションをとれるようにしています。

毎年感じるのですが、彼らの学ぼうとする意欲、そして力強い眼差しは言葉が伝わらなくても、私たちの心に伝わってきます。



支え合いながら、日々勉強されていました

また、同時期に大原ビジネス専門学校様から十四名の元気いっばいの方々が入所されました。

この私も、十六年前に同校を卒業しておりました。

「♪本気になったら大原」のCMソングの通り、私たちの生徒が将来の夢を掴むため、教師陣が本気で取り組んで

おられたことを、今でも鮮明に覚えています。

そんな大原ビジネス専門学校様からこられた皆さんですが、入校当初はキャンパスや学部がちがうこともあり、言葉を交わすようすは、拝見できませんでした。が、同じ目標に向かってがんばっている環境から、気付けば旧知の友だちのようにうちとけ合っていました。

教習の合間には、分からないところを教え合う姿や、励まし合う姿などが度々みられ、夏休みの貴重な時間を楽しく有意義に過ごされていたことが大変印象に残っています。



そんな皆さんに私たちはこれからも本気でサポートさせていただきます。

今月のありがとうカード

Mランド丹波ささ山校様

約二週間、価値のある時間をありがとうございました。入所当所は一人で来たので不安なことが沢山でしたが、優しいスタッフの皆さん、美味しいごはん、Mランドでできた友達が居てくれたおかげで、しんどいこともありませんでした！一生忘れない思い出です。これからも安全運転のドライバーを目指します！本当にお世話になりました。花田成美様

編集後記

今年の世界規模で「異常気象」。地球が悲鳴をあげているようです。今、私たち一人ひとりができることをしていきましょう。(徹)

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

9/4(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:大澤

9/25(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:前川

※当日はMランド集合です。(雨天中止)
ご参加いただける方は井本までご連絡ください。